

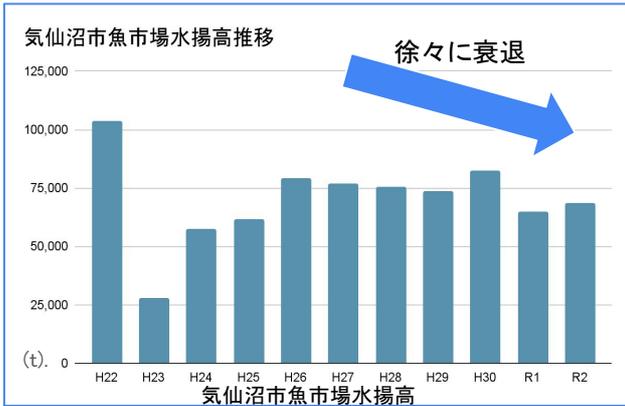
# ICTを活用して気仙沼の水産物を活性化させるには

5607A班

## I 序論

### 〈目的〉

徐々に衰退が進んでいく気仙沼漁業をICTを用い、活性化させる。



### 〈背景〉

個人経営によって資金が少ないことはICT化が進まないことにつながる。

### 〈仮説〉

- ・市を挟んだ漁業とIT関連会社との交流の場を設ける
- ・技術指導の場を設ける
- ・結果が分かりやすいような画期的な技術をつくる

## III 結論・まとめ

### 〈結論〉

・水温、天候、魚の分布状況をリアルタイムでどこからでも見れる技術

→ **出航の際や養殖に役に立つ!**

・漁場予測などにより遠洋漁業の効率化

→ **効率化により時間短縮に!**

・定置網などでの魚種判別

→ **漁獲制限や稚魚乱獲防止に!**



**効率化と国際問題への対応の両立が可能!**



### 〈課題〉

- ・資金調達の方法をどうしていくか
- ・漁師により漁業を効率化させるために必要な技術は何か現地の声を聞く必要がある。

## II 本論

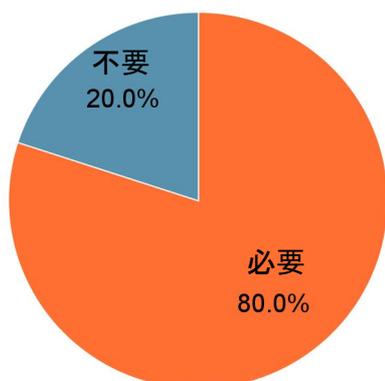
### 〈調査方法〉

- ・他県などの具体的なICT活用の事例についてインターネット調査
- ・市の水産課と大学へのFW

### 〈調査結果〉

- ・資源管理 → 自主的に漁業規制をして漁業経営の安定化を目指すこと
- ・漁業予測システム → リアルタイムで漁場予測情報を知ることができる
- ・ICT化のニーズが **高い**

周辺環境データの必要性



参考文献・ご協力いただいた方々

漁業のICT化とユーザーニーズ

[sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/202002/20200204.pdf](http://sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/202002/20200204.pdf)

気仙沼市魚市場水揚高

[kesenuma-uoichiba.jp/fishmarket/data](http://kesenuma-uoichiba.jp/fishmarket/data)

東北工業大学 S先生

気仙沼市水産課の方々

漁業のICT化とユーザーニーズ